

『憲法ガール』は、平成18年～24年の新司法試験公法系第1問(憲法)を素材として、憲法の事例問題の解き方を学べる小説です。そして、本書『憲法ガール Remake Edition』は、2013年に発刊された『憲法ガール』のリメイク版となります。

リメイク版における変更点は、主として、4点になります。

第一は、なんと言ってもイラストの変更です。せっかくリメイク版を作成するという事なので、元の『憲法ガール』とは違った雰囲気楽しんでいただくことができるように、紅木春様に新たにイラスト制作をお願いすることにしました。

第二に、平成18年～24年の答案例について、2000文字～2500文字程度のショートバージョンの解答例を追加しました。2013年版『憲法ガール』の答案は全論点に満遍なく言及した、いわゆるフルスケール型答案になっており、試験現場では思いつかないような事項も記載されていて実践的ではない、とのご意見が多くありました。そこで、従前のフルスケール型答案に加えて、ショートバージョンの答案を書き加えることにしました。ショートバージョンの答案は「自分が試験を受けている学生の立場ならば、例えば、このように書くであろう」というものであり、ロングバージョンとは異なるアングルから書いています。多様な答案のあり方を示すために、あえてロングバージョンとは異なる見解に立っている部分もありますので、ご留意ください。

第三に、現在では古くなった引用文献をアップデートしています。

第四に、事項索引をつけて、学修のための便宜性を高めました。

なお、平成25年以降の解説については、『憲法ガールII』の刊行を予定して

おりますので、そちらをご参照ください。

『憲法ガール Remake Edition』の制作にあたっては、東京大学大学院情報学環特任助教の酒井麻千子氏に校正作業等の手厚いご支援をいただきました。また、清水元氏、田中達也氏、山本侑氏、亀川達哉氏にモニター読者になっていただいた上で、校正作業にもご協力いただきました。法律文化社の編集者である舟木和久様には、編集作業にご尽力いただきました。

また、本書はもともとブログで掲載していた『憲法ガール』を書籍化したという経緯もあり、ネット上で支援していただいた皆様のご協力なくしては成り立たなかったものです。何より読者の皆様の存在なくして本書の存在意義はありません。本書に関わりのあるすべての方のお名前を挙げることはできませんが、この場を借りて御礼申し上げます。